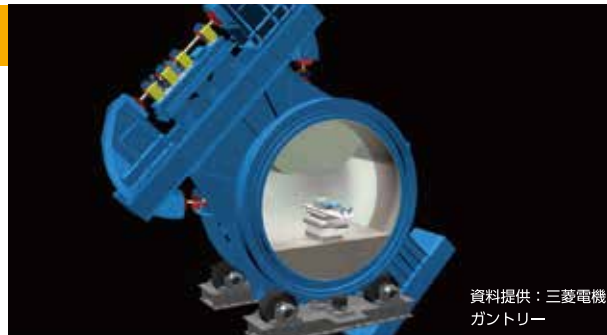


平成28年3月 中国・四国地方初 (現在全国で10施設) 「がん陽子線治療センター」 開設予定

陽子線治療とは

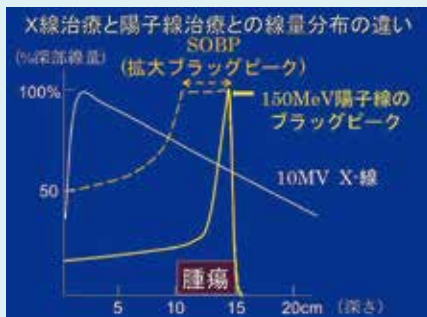
陽子線治療とは、放射線治療の一種です。放射線は大きく分けるとX線に代表される電磁波と、陽子線などの粒子線があり、陽子線治療では水素の原子核（陽子）を粒子加速器（シンクロトロン）を用いてエネルギーを高めて治療に用います。陽子線治療は従来の放射線治療よりも 副作用が軽くがんの病巣のみに集中した効果が出せ、今まで治療が難しかったがんにも高い効果が期待できます。



資料提供：三菱電機
ガントリー

★陽子線治療の特徴

X線治療の場合、皮膚の表面近くで放射線量が一番高く、身体の奥へ向かうほど低くなり、病巣を越えても奥まで突き抜けていくため、がんの奥側にある正常組織を傷つけてしまうことが避けられず、効率が良くない治療といえました。これに対し陽子線では、特定の深さで高い放射線量を放出してそれより奥には達しないブラッグピークという特徴があり、このブラッグピークの深さや形をコントロールしてがんの大きさや形に合わせる拡大ブラッグピークにより、がん病巣に集中した治療が行えます。

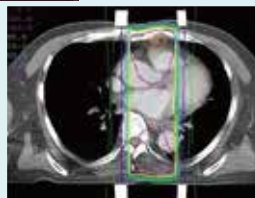


★陽子線治療のメリット

- ・正常組織への影響や、副作用が少ない。
- ・日常生活を続けながら、通院での治療が可能。
- ・放射線で障害を受けやすい組織の付近にあるがん細胞に照射が可能。
- ・脊椎への照射を避けることができ、小児の成長障害が起きにくい。
- ・高齢者や合併症で手術ができない方への治療が可能。



食道がんに対する陽子線治療の線量分布



食道がんに対するX線治療の線量分布

★陽子線治療の適応例

- ・脳腫瘍
- ・頭頸部がん
- ・Ⅰ～Ⅱ期肺がん、Ⅲ期肺がん（特に原発がん病巣とリンパ節転移病巣が連続している例）
- ・転移性肺がん（原則は1ヶで腫瘍径が3cm以上の例）
- ・縦隔腫瘍（胸腺がん、若年者のホジキン病）
- ・早期食道がん
- ・進行食道がん
- ・肝臓がん（腫瘍径が3cm以上の例）
- ・転移性肝がん（原則は1ヶで腫瘍径が3cm以上の例）
- ・膀胱がん（局所進行がん）
- ・前立腺がん
- ・膀胱がん
- ・直腸がんの骨盤内術後再発例
- ・小児がん 等

※胃や大腸などの消化管のがん、複数のリンパ節転移のあるがん、血液のがんなどは、陽子線治療の対象にはなりません。

★陽子線治療の費用

陽子線治療は先進医療の適用となるため、健康保険診療との混合診療が認められています。

治療費	
陽子線治療費 (照射技術料)	一連の陽子線照射につき約300万円 全額自己負担
入院・検査料等	健康保険適用

※各種生命保険の先進医療特約により治療費の給付を受けられる場合があります。

★当センターの略称「TOP BEAM」

Tsuyama chuo hospital (津山中央病院)
 Okayama university (岡山大学)
 Proton (陽子)
 BEAM (光線)

資料提供：兵庫県立粒子線医療センター

駐車場案内図

【市民公開講座会場】
津山文化センター 大ホール
 津山市山下68
 ☎0868-22-7111



【お問い合わせ先】
一般財団法人津山慈風会
津山中央病院
 〒708-0841 岡山県津山市川崎1756
 TEL 0868-21-8111
 FAX 0868-21-8200
 メール soumu@tch.or.jp



裏面もご覧ください